



2026年3月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア シ ロ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 山 博 登
(コード番号：7378 東証グロース)
問 合 せ 先 上 級 執 行 役 員
管 理 本 部 本 部 長 河 原 雄 太
ir@asiro.co.jp

配当方針の変更（配当性向の変更・中間配当の実施）及び 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年3月12日開催の取締役会において、配当方針の変更（配当性向の変更・中間配当の実施）及びこれに伴う2026年10月期の配当予想の修正（増配）について、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更（配当性向の変更・中間配当の実施）について

当社はこれまで、リーガル領域を中心とした事業拡大及びプロダクト投資を通じた持続的な成長を重視し、成長投資を優先した資本政策を基本方針としてまいりました。また、株主還元については、配当性向30%を目途として実施してまいりました。

当社の中核事業であるリーガルメディア事業は、弁護士ポータルサイト「ベンナビ」を中心とした安定的な顧客基盤を背景に継続的な売上成長を実現しており、当社グループのビジネスモデルは安定的な営業キャッシュ・フローを創出する構造となっております。また、当社はリーガルメディア事業を中核とし、関連領域へと展開する事業循環モデルの構築を進めており、各事業が相互に連携することで持続的な成長と収益基盤の強化が進んでおります。

こうした中、当社のコア事業であるリーガルメディア事業の収益基盤が着実に拡大し、安定的なキャッシュ創出力が確認できる段階に至ったことから、従来の株主還元方針を踏まえつつ、株主還元を一段と強化することが可能であると判断いたしました。また、当社は、リーガル領域を中心としたAI・プロダクト投資及びコア集中型M&A等の成長投資をキャピタルアロケーションの最優先事項とし、その成果として創出されるキャッシュを株主の皆様に適切に還元していくことを基本的な資本配分の考え方とすることといたしました。

この方針のもと、以下の条件を満たすことを前提として株主還元水準を引き上げることといたしました。

- ① 自己資本比率40%以上の健全な財務基盤を維持できること。
- ② 株主還元強化後も純資産が増加すること。

そして、直近までの経営成績及び財政状態並びに今後の見通しを踏まえ、上記の条件が満たされるものと確認したため、当社の配当性向を従来の 30% 目途から 40% 以上へ引き上げることといたしました。また、当社は、株主の皆様への安定的な還元機会の拡大及び投資家層の拡大を目的として、2026 年 10 月期より中間配当を新設し、年 2 回の配当体制へ移行いたします。なお、当社は、取締役会の決議によって、毎年 4 月 30 日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

これにより、2026 年 10 月期の年間配当予想は 65 円（前期実績 42 円 20 銭。詳細は後記 2 参照）とし、株主還元の一層の充実を図ることといたしました。なお、本方針は自己資本比率 40% 以上の維持及び株主還元強化後においても純資産が増加することを前提としており、当該前提を満たさない場合には、財務健全性の維持・回復を優先し、配当水準を適切に見直すものとします。

今後も当社は、成長投資と株主還元のバランスを重視したキャピタルアロケーションを推進し、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

2. 2026 年 10 月期の配当予想の修正について

配当予想につきましては、前記 1 で定める事項に加え、2026 年 10 月期第 1 四半期時点において、中核事業であるリーガルメディア事業の堅調な業績推移を踏まえて、以下のとおり変更することといたしました。

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2025 年 12 月 11 日発表)	0 円 00 銭	40 円 33 銭	40 円 33 銭
今回修正予想	24 円 00 銭	41 円 00 銭	65 円 00 銭
当期実績			
前期実績 (2025 年 10 月期)	0 円 00 銭	42 円 20 銭	42 円 20 銭

※ 中間配当は 2026 年 4 月 30 日現在の株主名簿に記載又は記録された株主を対象といたします。なお、中間配当の配当額及び配当支払開始日につきましては、2026 年 10 月期第 2 四半期に係る取締役会で決議する予定です。

※ 本資料に記載されている配当予想に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の配当額は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上